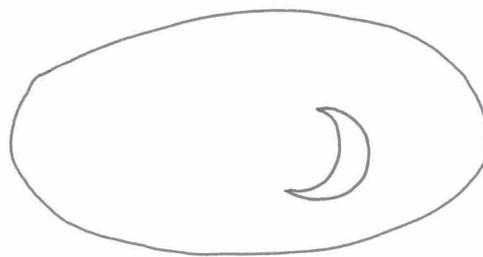


住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

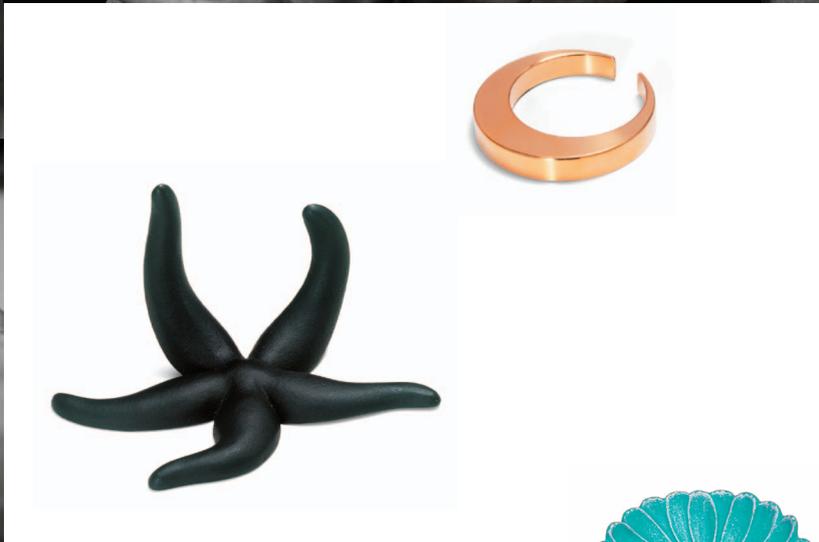
ATOM NEWS

2015 AUTUMN

189

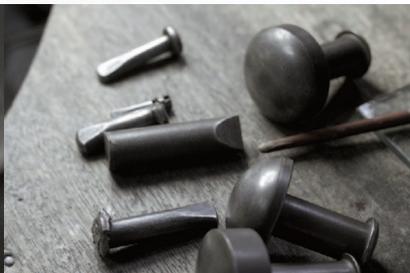


a listen.



KANAGU

kanagu-store.com



- 3 Artisan Gallery 功德の美 念珠職人 竹中 義博さん
- 7 アトムCSタワーのエコ活動 屋上緑化で環境学習 [17](#)
- 8 石の神様・仏様 茶碗を持って立ち上がれ
- 9 住まいに役立つ仲間たち 家を守る『鍵と錠前』その1
- 11 古今東西たてものがたり 栃木県日光市 旧日光田母沢御用邸
- 15 What is ATOM? アトムリビンテックって、どんな会社? [1](#)
- 17 SLOWでいこう 国分寺 カフェスロー・3 地域の繋がり編
- 18 オフタイム

今号の表紙

絵 VKIKO 詩 志岐奈津子

a listen 「simple side.」より

たとえば、借りた本を読んでいる時、
いつの間にか、貸してくれた人の声で、
文字を追っていることがあります。

心の中は、自由です。

いろんな人が遊びにきます。

VKIKO (フキコ) 画家

北海道余市町生まれ。「いのちとつ
ながり」をテーマに自然のエネル
ギーを紡ぎ続ける



東日本大震災で被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、
一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

アトムリビンテック株式会社は社業を通じて、またアトムCSタワーでのイベント等を通じて、東北復興支援活動を継続してまいります。

読者プレゼント Present



● アイスクリームカップホルダー & スプーン Happy Ice Cream!

かき氷にガ〇ガ〇君。夏は清涼感のある氷菓が主役でしたよね。というわけで、秋からがまさにアイスクリームのおいしい季節！燕の熟練職人がつくりあげたSUSgalleryのアイスクリームカップホルダーはステンレスの二重構造になっていて、溶けにくい状態をキープ。口当たりにこだわったお揃いのスプーンで食べれば、おやつタイムがいつそうHappyに。ベリー、ミント、マツチャの3色からひとつ選んでお届けいたします。

【サイズ】カップ:φ77×H51mm 容量120ml スプーン:107mm

【材質】カップ:18-8ステンレス スプーン:18-18ステンレス 【販売価格】5,000円+消費税

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方のなかから抽選で6名様にプレゼントいたします。

締め切り 2015年10月31日(土)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

こちらの商品は、CSタワー1階「ギャラリーショップKANAGU」で展示販売しています。どうぞお手にとってご覧ください



功德の美

念珠職人 竹中義博

法具の製作を預かる 念珠職人の仕事場。

職人と師匠でもある番頭はん

二人並んで仕事する。

シュラツ シュラツ と糸の束をすく。

すいた糸に撚りをかけ、珠の穴にすつと通す。

糸を手ばさみで、パチッと切り捨てる 潔く。

指先を素早く 巧みに使い、糸を四つ組に編む。

微かに 微かに

耳を凝らさねばならぬほど

微かな音 キュワツ キュワツ。

こうして時々耳にする不思議な音たちは

作業シーンを演出する名脇役…の感あり。

日差しを背に 薄いお座布に正座し

職人は黙々と念珠を作り続ける。

向かう前には、七十五年もの間

代々の職人の手技を見守ってきた組み台。

糸をかける 糸を撚る 珠に糸を通す。

それは職人と、珠と糸と、組み台が

繰り返し 繰り返し続けてきたコラボレーション。

こうして そうして やつとここに

美しの京念珠が生命を与えられる。

その姿 合掌礼拝の際の法具でありながら

魅せるための色 姿が表現された賜物に違いない…美しい。



「念珠とは、心を念ずる珠なり」



— 念珠と京都の繋がりについては？

京都は千年以上にわたって日本の首都でしたが、明治維新で首都が東京に移った後も宗教的な機能を持ち続けました。

また京都には仏教の各宗派の本山があります。そのため、全国の末寺から本山へと人の流れが途絶えず、結果、京念珠が生み出されました。今、生産の90%以上を京都が占めています。まさに歴史的伝統産業やと思います。

— 伝統産業を担う京念珠の製造卸商「竹中源」の歴史について伺います。

うちの歴史は85年ほど。私が四代目として家業を継承しました。京都では、家業を継ぐというのは珍しくないんです。ですから、私も子どもの頃から「継ぐ」という意識で育ってきました。「いやや」と思うたことはありません。

昔、住まいは店の上にありました。

下に行くとな数の職人さんが仕事をしています。作っている姿は毎日、ずっと見ていたわけです。眺めるだけでなく、作業場は私の遊び場でもありました。職人さんたちは、日常では使

合掌礼拝…その形を“作る”

— そもそも数珠（念珠）は、インド伝来のものと聞いています。

インドのバラモン教で用いられていたものが原型ということ。それが釈尊に用いられ、その後中国に伝わった。日本には飛鳥時代、仏教伝来とともに伝わりました。高価なもので、

最初は僧侶の間でもごく一部の方しか持っておられなかったようです。一般の人たちに普及したのは、鎌倉時代以降のことです。

— 数珠と念珠は違うのですか？

基本的には同じものです。数珠は題目や念仏を唱えた回数を数えるために使ったことから、そう呼ばれるようになったんです。

わへん単語とか漢字とかを使っています。それを見たり聞いたりするのも楽しかった。そうこうして、知らず知らずのうちにこの世界を学んでいったんやと思います。本格的に仕事に携わるようになったのは二十歳の頃ですが、すうっと入っていきました。

— 楽勝…ですか？

いえいえ。子どもの頃、遊びの延長でいたのとは違い、仕事として真剣に取り組むようになると難しい問題も出てきます。責任の重みも感じますし。

私の場合、作ることに関してはあまり悩んだことはないです。長時間、ずっと作り続けるのも、どうもないんです。でも、営業的なことが苦手でね。きつと職人が肌に合っているんです。



竹中 義博 たけなか よしひろ 1974年、京都市生まれ。数珠製造卸商「竹中源」四代目。父と職人たちが数珠を作る仕事を「遊び場」とし、さまざまな影響を受けながら数珠に携わる基盤が育成された。1994年、経理の専門学校を卒業後、「竹中源」に入店。2004年、京念珠製造師1種1級を取得。2010年、四代目を継承。2014年「京念珠製造業青年会代表」就任。現在に至る



中学を卒業してから、ずっと念珠作りをしてきた「番頭はん」。念珠作りのすべてを知っている。四代目を育ててきた懐の深い師匠でもある



京念珠の美しさを高める房の色・形状。どの色をどれだけの本数で、どう組むか。その判別も優れた職人に授けられた技の一つ



藍染めの職人とコラボレーションをして作った新しい感性伝わる念珠。伝統技術を継承しつつも、新たな念珠を作り、その存在を広めていきたいという意気込みが



技を磨き、知識を深め

——仕事の師匠は番頭さんですね。

最初は番頭はんの横について、一からの始まりでした。作る作業というのとはどこの世界でも一緒ですが、一人前になるには「目で見て、盗め」に尽きます。番頭はんは色々教えてくれました。深い懐で私を育ててくれました。

でも基本的には「見て覚えなさい」と。珠に糸を通す。組んで房をつけて仕上げる。綺麗に編むには力加減が大事。

「全部、手に覚えさせなさい」というのが番頭はんの思い。きっちりした仕事ができるようになるまでには、3年の歳月がかかりました。昔ながらの作り方で、糸を組んだ後に紐で束にして縛って刈り込む「梵天」という技術があります。梵天を素早く均等に刈り込めたら職人として一人前」と言われていますが、作れる職人さんは徐々に減っていて、育成もなかなか難しい。番頭はんも私も、梵天が作れるというのは「竹中源」の強みですね。

——将来を担う京念珠の職人として思われることは。

「新しい数珠の姿」というても、念珠というのは、ブームを巻き起こすものではなく、静かに、永く流れていくも

の。なかなか新しいものは作れません。でも、如何に昔ながらの形を継承しつつ新しい姿を生み出していくかを試行錯誤することが私たちの時代に課せられた使命やと思います。たとえば、紐。組み方の違いやか色の使い方やとか。大きな変化はないでしょうが、色・姿は今という時代のなかで変われる可能性があると思います。

これからは、もっと念珠の歴史を深く学び、技だけでなく幅広い知識も備え、念珠職人としての生涯を全うしていきたいと思っています。

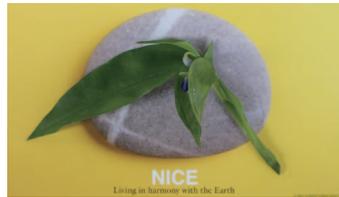
「仏具を作る」道具たち

- ① 櫛 糸をさばくときに使う
- ② 手ばさみ 糸を切るためのはさみ
- ③ 梵天ばさみ 球状の梵天に刈り込むために使うはさみ
- ④ 裁ちばさみ 太い糸を切るときに使うはさみ
- ⑤ ものさし 房の長さを測るための道具

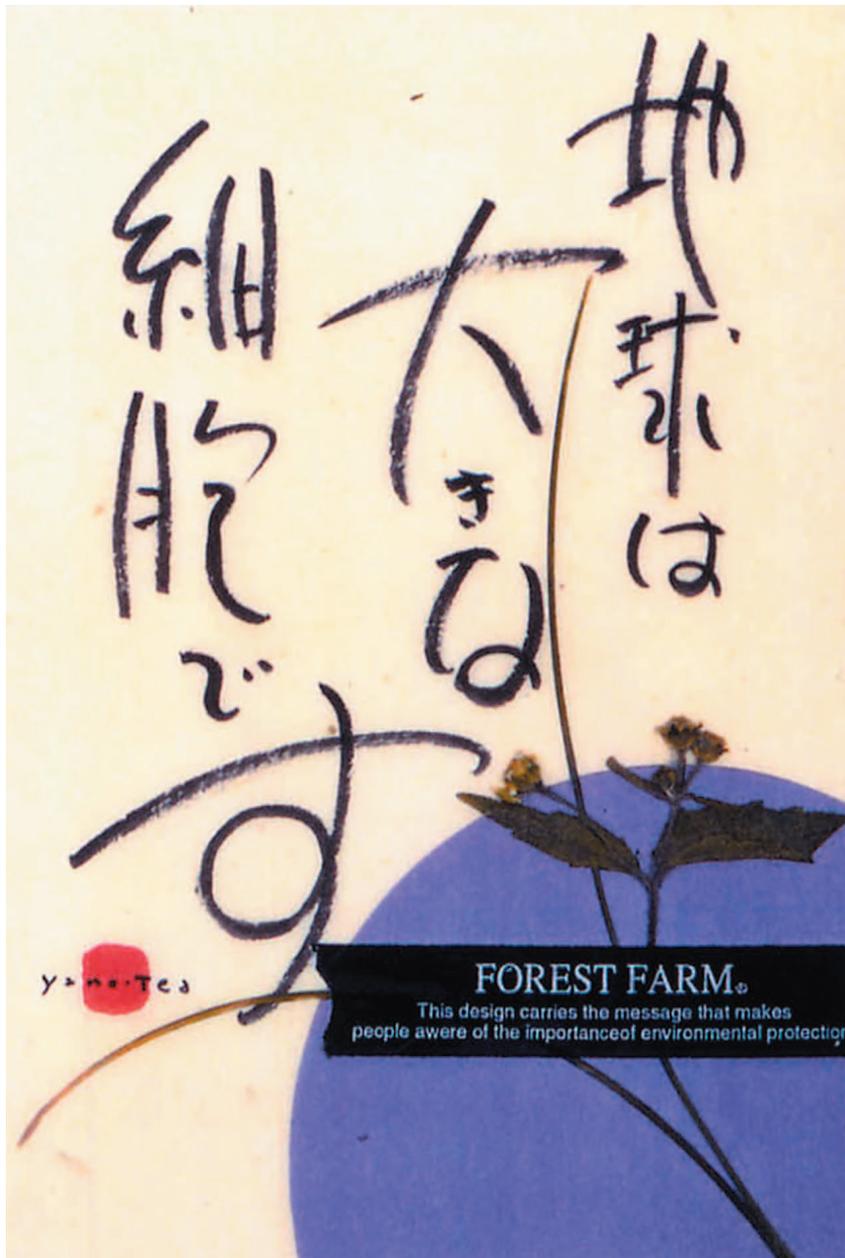


This design carries the message that makes people aware of the importance of environmental protection.

絵葉書をつくるファミリープログラム



わが国には古来より伝わり現代にいたるまで深く生活のなかに息づく日本特有の色彩感覚があります。四季のある日本の自然界から生まれた日本の伝統色を見つける「絵葉書をつくる」プログラムでは古代の色彩を学びます。アトム CS タワーで育てた植物や都市の公園や庭の花木や野草を使って絵葉書をつくり、色見本で色の名前も調べます。子どものためのプログラムは、シルバー世代にも人気の、ファミリーで楽しめる内容となっています。



FOREST FARM 矢野TEA ガーデンデザイナー 世界らん展や英国王立園芸協会主催のチェルシーフラワーショーなどで多数受賞。2003年NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」の「へんし〜ん」コーナー制作。著書に「森の標本箱」(小学館)、「HOUSE」(マガジンハウス)など。

www.forest-farm.com

© 2011 FOREST FARM YANO TEA

石の
神様

仏様

18

宮崎県小林市 大丸の田の神さま

茶碗を持って立ち上がれ

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。



「いつも笑顔で前向きに生きていけば、願いはきっと叶う」

素敵な言葉だけれど、それを信じて頑張っていられるのは、

まだ気持ちに余裕があるうちだけ。

人生には、自分ではどうにもコントロールできない

厳しい出来事も、しばしば起きてしまう。

心も体も打ちのめされて、どれだけ前向きになろうとしても

無理という状況に陥ってしまうことも

そう珍しくはないだろう。

そんな時、君の助けになるのは米だ。

パンやケーキは体のエネルギーになるが、

心のエネルギーになる食べ物は、やっぱり米なのだ。

茶碗いっぱいのご飯をおなかに詰め込んで、

さあ、明日に向かって立ち上がろう。

大丸の田の神さま (宮崎県小林市)

田の神さまは、鹿児島県と宮崎県の田んぼに分布する石の神像。この像がある田んぼでは、美味しいお米がたくさん実ると言われています。江戸時代に、近くの霧島山が噴火し、その復興のシンボルとして、薩摩藩がこの像を作ることを奨励したとのこと。日本人は、昔も今も、お米さえあれば立ち上がることができるんですね

●宮崎自動車道・小林ICより北東へ車で約9.5km
小林市街地を経て本町交差点より国道265号線を約3.6km



文・写真 吉田さらさ 寺と神社の旅研究家

寺、神社、仏像に関する執筆と講師が主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様、仏様の像の魅力に気づき、写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワークとなった。昨年秋に、撮りためた写真をまとめた本『明日がちょっと幸せになるお地蔵さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)を上梓。その他、『近江若狭の仏像』、『石仏・石の神を旅する』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

<http://sarasa77.hatenablog.com/>

住みに役立つ
仲間たち

KEY & LOCK

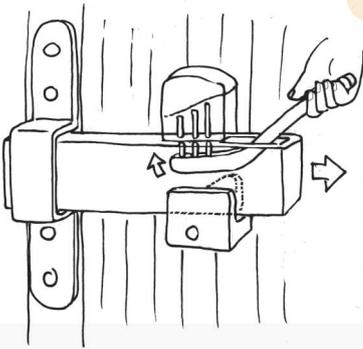
家を守る『鍵と錠前』その1

かぎ
じょうまえ

現代人のカバンの中には、二種の神器のごとく、携帯電話、お財布、そして家の鍵が必ず入っていると思います。昔から鍵と錠前をめぐり、それを破ろうとする石川五右衛門のような大泥棒と、これを防ぐこととする城主や家主との攻防戦が続いてきたことを考えると、鍵と錠前は、ある意味で歴史を映す知恵の産物かもしれません。

大昔からあった鍵と錠前

紀元前2000年、エジプトで使われていたのがエジプト錠と呼ばれている古い扉の鍵です。この錠前は、木製でした。ギリシャ時代にはさらに精巧なパラノス錠が考え出されました。



バイキングも錠前を使っていた

鍵の歴史を見ていくと人は財を持つたびに、権力を誇示するため、また蓄えを守るために錠前を作りました。

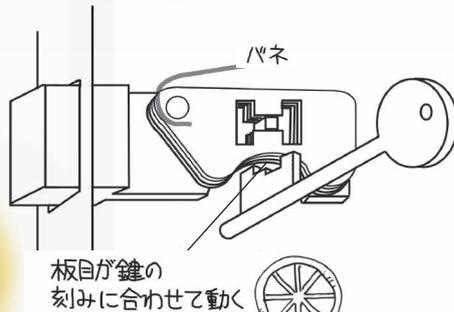
鍵をさすぞ!

イギリスのヨークにあるバイキングの住居跡から出土



新型錠前をイギリスが考え出した

1778年にはイギリスのRobert Barronがレバータンブラー錠を考案、内部の羽板が刻みにはまる鍵が回り、錠前が開きます。



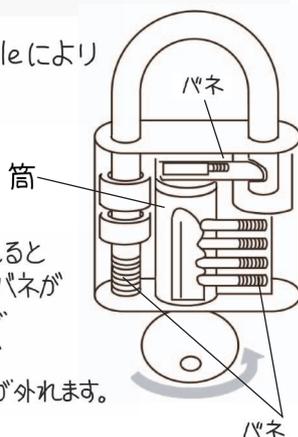
板目が鍵の刻みに合わせて動く



ナポレオン時代の鍵
西洋では鍵は、家の象徴として様々なデザインが施され受け継がれてきました。

アメリカでシリンダー型の錠前が誕生

ピンタンブラー錠が
1848年にLimus Yaleにより販売される。



錠前に鍵が差し込まれると鍵の刻みの山にそってバネが押し出され金属の棒が納まると、そのまま筒が回転して錠前のロックが外れます。

南京錠のはじまり

南京錠は、紀元前300年頃から西洋からアジアにかけて活動していた商人によって商品の保管のために使ったのがはじまりです。その仕組みも変化し、現在私たちが見かける南京錠はイェール錠として進化してきたものです。



塩浦 信太郎

信太工房主宰/カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作。ほかにデパート各店で展示販売などを行っている

金属の「新人」誕生

アルミニウムといえば、私たちの生活に深く浸透している素材といえます。周りを見渡すと、アルミオイルや窓のフレーム、アルミ缶、自転車のフレームなどアルミ製品がたくさんありますが、皆さんの財布の中で必ず1枚は目にする1円硬貨もアルミニウム。じつはこの硬貨、つくるのに2倍以上のコストがかかっているのです。つい最近も、ある国の人がアルミ素材に使うため日本の1円硬貨を大量に自国に持ち帰ったという噂が、まことしやかに流れていました。

このように私たちの生活になくてはならないアルミニウムですが、使われるようになったのは、ほんの100年ほど前ですから、比較的新しい金属といえます。また、最近よく耳にする「チタン」という金属は、1910年に鉱石から取り出す方法が見つかったばかりなので、いわば金属の「新人」といえるでしょう。このふたつの金属の登場により合金が作られるようになり、軽くて丈夫なアルミニウムのチタン合金も誕生しました。



アルミニウムを作るにはまず、鉱物のボーキサイトを水酸化ナトリウムで処理し、アルミナという酸化アルミニウムを取り出します。その後で氷晶石と共に溶解し、電気分解を行います。その際、大量の電力を消費するため、アルミニウムのリサイクルが叫ばれているのです。

純粋なアルミニウムは強度が小さいのですが、ジュラルミンやアルミニウム合金などになると俄然、強度が増すことにより、使われる頻度が高くなるわけです。それにアルミニウムは白色の金属で熱伝導性がよく、また加工もしやすく腐食に強く、かつ軽量という特性があります。

日本の鍵と錠前

じつは日本では庶民の家に錠前は使われず、鍵が使われ始めたのは江戸時代の後期でした。商人が蓄財を保管するために作られていました。からくり錠もそのひとつです。しかし神社やお寺では、それ以前から宝物を保管する建物や保管箱に、特徴のある海老錠や船型錠が使われていました。



板バネを縮めて抜き出す

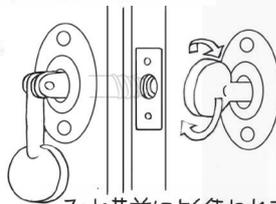
大阪羽曳野市「野々上遺跡」から、日本最古の錠前、海老錠が見つかっています。江戸時代になって錠前の生産がはじまり阿波錠(徳島)、土佐錠(高知)因幡錠(鳥取)、安芸錠(広島)などが数多く作られていました。

阿波錠
(からくり錠)

いかり
錠前を
お土ごめ

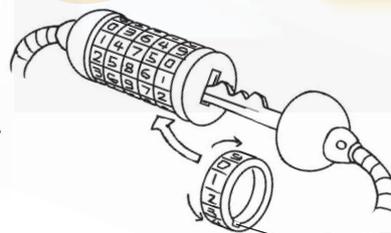
ネジ締め錠

2枚の引き戸を1本のネジ締め錠で繋いでいる



ひと昔前によく使われていたねじで戸締りするネジ締め錠

番号合わせの錠前の仕組みとは?

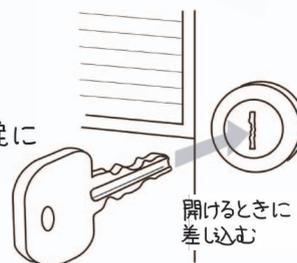


数字のリングの内側に細工が施されている

凹みの位置を合わせる

目の前から錠前が消えていく

これまで扉の外に付けられていた錠前ですが、現在玄関では内部に仕込まれたシリンダー錠に変わりつつあります。



開けるときに差し込む

古今東西

たても
のうたり

崇高で雅やかなる木造建築

栃木県日光市・旧日光田母沢御用邸

取材 文 倉田ひさし 撮影 大垣善昭

日光連山の山麓、東照宮のほど近くに、大正天皇の御静養所であった「旧日光田母沢御用邸」がある。御用邸は太平洋戦争後に廃用となったのち、幾多の変遷を経て修復・整備され、平成十二年に「日光田母沢御用邸記念公園」として再生した。その貴重な木造建築は、平成十五年に「国の重要文化財」に指定されている。

三時代にわたる建築様式

畏れ多くも「御用邸」である。

正門の前に立つただけでも、身が引き締まる。背筋がピンと伸びる。

周辺を杉並木に囲まれた閑静な「旧日光田母沢御用邸」は、建築規模が四四七一平方メートル、一〇六におよぶ部屋があつて一部が三階建て。敷地はじつに東京ドームのグラウンド三つ分という広大さを誇っている。明治期に造営された御用邸の中でも最大規模の木造建築で、三

代にわたる天皇および皇太子がご利用になられた、旧御用邸で現存する唯一の建物である。

創設は明治三十二（一八九九）年。病弱であつた皇太子・嘉仁親王（大正天皇）の夏の御静養所として造営された。

ただし、すべて一時期に新築されたのではなく、すでにこの地にあつた民間の別荘住宅に合体させる形で、赤坂にあつた東宮御所を移築し、さらに大正期に新たな部分を増築したもの。建物は大きく分けて、江戸・明治・大正という三つの時代の建築様式を持つ集合建築群である。

とはいえ、それぞれの時代や用途が異なる建物は一・二階の屋根がひと繋がりになり、どこを見ても付け足したとは思えないほど違和感なく、みごとに調和がとれているのだ。

紀州徳川家の中屋敷を移築

まずは唐破風造りの「御車寄」から入つて、長さ六十メートルもある御通り廊下へ。



静寂に包まれた中庭の右手に見えるのが「御通り廊下」。中央の3階建てが「聖上御殿」で、左手前が「表御食堂」



公式の謁見を行う「謁見所」。床・棚・書院を設けた書院造りだが、絨緞やシャンデリアなど和洋折衷様式

御用邸の中核をなす部分が、廊下の先

にある三階建ての建物「聖上御殿」である。かつては天保年間に紀州徳川家の江戸中屋敷として建てられ、明治維新後に皇室に献上されたもの。赤坂にあつた嘉

仁親王の東宮御所（別称・花御殿）として使用されていたが、それを解体・移築したのである。この御用邸の中では、もっとも古い建築様式を見ることが出来る。

一階にある「御座所」は、大正天皇が日常的な公務を執られた執務室・居間で、

書院造りの部屋。和室ではあるものの、

床には多彩で複雑な絵柄を特色とするアキスミンスター織の絨緞が敷かれ、天井にシャンデリアという和洋折衷様式が採りいれられている。

二階には「御寝室」があり、こちらは純和風の畳敷き。邸内ではこの部屋のみ電灯がなく、燭台が置かれている。蝋燭のやわらかな光が眠りの世界を彩つたのだろう。

三階には原則非公開の「御展望室」が



赤坂の東宮御所から移築した「御車寄」は、明治期に建築された唐破風造り

あるが、毎冬、期間限定での公開が行われ、窓からは庭園が一望できる。紀州徳川家の中屋敷時代は、藩主だけが家庭と仕事から離れて過ごすことのできる特別な部屋であったとか。大正天皇は、賓客や女官たちをお連れになり、当時はほとんど木々も高くなかった田母沢の風景を遠望され楽しまれたという。

最高級の木曾檜材と銑金具

一方、皇后の「御座所」のある皇后宮は、明治二十年頃にもともと田母沢の地に建てられていたもの。日光出身の実業家・小林年保の別荘をリノベーションしたもので、皇后のお住まいにふさわしく、京風の様式を意識した優美な造りが特徴



天皇・皇后両陛下が日常生活において食事をされた「御食堂」。美しい庭園が一望できる

である。

一階に「皇后御座所」「皇后御寝室」「高等女官詰所」などがあり、二階に「御学問所」や「御次の間」がある。柱や長押には京都や大阪の高級住宅でもてはやされた檜材が用いられ、天皇の「御座所」とは異なつて絨織ではなく畳敷きとなっている。

檜の語源は、長短の葉が次々につくことから「継ぐ」の意味をかけたという説もあり、関西では高級良材とされ、時には檜より上に評価されることもあるという。

このほか御用邸の重要な建築部分として、大正天皇の御即位後に増築された「謁見所」や「表御食堂」「御玉突所」などがある。

「謁見所」は天皇が公式に来客と面会する部屋で、伝統的な書院造りでありながら、畳の上に絨織を敷きシャンデリアを設けるなど、和洋折衷の様式である。柱や格天井、長押、鴨居などにはすべて木曾の御料林から伐り出された尾州檜などの最高の木材が用いられた。

床柱は樹齢八百年以上といわれる檜の四方系柱、違い棚の棚板は櫨の玉柵、釘隠しや襖の引手には最高級の銑金具が使われている。注目すべきは、海外からの要人のことを考慮して通常よりも鴨居を

アトムの視点



柱や吊り束と交差するところの長押に見られる「釘隠し」。和風建築ならではの粋な遊び心が感じられます

誰かの言葉を借りるなら、邸内は「銑金具の宝石箱」です。奥へ進むほどに次々と釘隠しや戸引手が登場し、興奮度はうなぎ上り。部屋を使う人の位が金具に表れています。



花びら16枚の「十六八重表菊」、いわゆる菊の御紋を配した襖戸引手は多種多彩です

銑職人が「たがね」を使って彫金している様子が目に浮かびますね



最も印象深かったのは一番左の写真、3階御展望室（期間限定公開）の襖にあった半月型の戸引手。モダンで奥ゆかしい佇まいでした



皇室では明治時代の初期から諸外国の賓客との交流のために、ビリヤード用の「御玉突所」を設けていた



開放感を持たせるため窓側に傾斜している廊下



「御湯殿」は皇室の伝統的な、浴槽のない掛かり湯式



赤坂離宮から移築した「御座所」(元 紀州藩江戸中屋敷)



シェードの赤は金を王水に溶かして発色させた

高くし、敷居は時代を先取りしたバリアフリーの造りとなっている点である。

和風と西洋文化との融合

大正天皇が臣下や賓客と食事を共にされ、御誕生祝いの宴が開かれたのは「表御食堂」である。

襖や壁、天井などは和風であるものの、照明はシャンデリアである。また床も洋風で、樺の柂目寄木張り。建築以来百年近く経った今でも、まったく狂いがなく匠の技が生きている。

テレビドラマになった「天皇の料理番」の秋山徳蔵氏によれば、大正天皇の料理の味つけは、どちらかといえば辛口が好みであった、という。

旧日光田母沢御用邸は、明治維新以降の西洋化の波のなかにあつて、和風建築の伝統を活かしつつ、西洋文化との融合をはかった稀有な木造建築である。

太平洋戦争後は、昭和二十二年に廃用となつて一般公開され、博物館や研修施設、修学旅行生の宿泊施設などに利用されていた。

その後、栃木県の所有となり、御用邸に刻まれた建築の技と伝統を後世に伝えるために、老朽化していた部分の修復と整備がすすめられた。そして平成十二年

に「記念公園」として開園、現代の匠たちの手によって往時の姿がよみがえったのである。

崇高にして雅やか。

邸内に足を踏み入れれば、一瞬にしてその建築美に心を奪われるに違いない。



平成の復元工事の際、菊の御紋の下から葵の御紋が発見された

INFORMATION

旧日光田母沢御用邸

- 所在地：栃木県日光市本町8-27
- TEL：0288-53-6767（日光田母沢御用邸記念公園管理事務所）
- 開園時間：4月～10月 9:00～17:00（受付は16:00まで）
11月～3月 9:00～16:30（受付は16:00まで）
- 休園日：毎週火曜日（その日が祝日の場合は翌日） 年末年始（12/29～1/1）
*ただし4/15～5/31、8/13～8/16、10/1～11/30、1/2～1/5の期間は無休
- 入園料：大人・高校生 510円（団体20人以上の場合は410円）
小・中学生 250円（団体20人以上の場合は200円）
- 交通：JR日光駅、東武日光駅下車 東武バス「湯元温泉行き」「中禅寺温泉行き」
「奥細尾行き」「清滝行き」などで、「日光田母沢御用邸記念公園」下車1分
- <http://www.park-tochigi.com/tamozawa/>



Q1 アトムリビンテックのルーツは職人と聞きましたが？

A そうですね、もともとは^{かざり}銑職人だった創業者の高橋良助が、明治36年(1903年)に修業を^お了えて独立し、自宅にフイゴ場をつくって、^{さしもの}指物金具の製造を始めたのがルーツなんですね。指物というのは、釘などの接合道具を使わずに木と木を組み合わせてつくる家具や建具、調度品のことです。

Q2 その頃から製造に加えて販売も行っていたのですか？

A いいえ、当時はまだ金物の販売は行っていません。かつては長火鉢や鏡台、あるいは針箱や茶箆筒といった指物が暮らしのなかにありました。最近は目にする機会がほとんどなくなってしまいましたが、創業時はそうした家具類に使われる装飾金具の受注生産がメインだったんです。

What is ATOM?

じつは、皆さんからよく「アトムリビンテックって、どんな会社？」と聞かれます。知っているようで、ホントはよく知らない…。そんな皆さんの疑問にお答えしようと、連載スタートの第1回は、高橋良一社長にインタビューしました。



アトムリビンテック株式会社
代表取締役社長 高橋 良一
1949年生まれ。1969年入社。集配センター、研究室、営業管理部、販売部等を経て、1980年代代表取締役副社長。1984年、代表取締役社長。

Q3 では、現在はどんな事業をしているのでしょうか？

A 大まかにいえば、家具金物・建具金物といった住宅用に使われる「内装金物」全般に関わった事業を展開しています。たとえば、ドアや家具などの蝶番や、ドア錠、取手や引手のほか、戸車やレールなど、住まいのいたるところで使われている身近な金物…といえばイメージしやすいかもしれません。



Q4 気づかないけれど、とっても身近な存在なのですね？

A はい。でも、お付き合いの中心は、家具メーカーやハウスメーカー、住宅設備機器メーカーですから、一般の消費者の方々とは直接の接点がほとんどありません。テレビCMもしていませんから、「ATOMブランド」の製品を使っているという認識をお持ちの方は、多くはないでしょうね。とはいえ、取り扱いアイテムは5万アイテムを超えています。その意味でアトムリビンテックは、「内装金物(住まいの金物)」という独自の分野に特化した会社といえるのではないのでしょうか。

アトムリビンテック株式会社 会社概要

- 創業 1903年(明治36年)
- 設立 1954年(昭和29年)
- 代表者 代表取締役社長 高橋 良一
- 資本金 3億74万円(平成27年6月期末)
- 従業員数 115名(平成27年6月30日現在)
- 本社所在地 東京都台東区入谷1-27-4
- 年商 93億100万円(平成27年6月期)
- 事業内容 内装金物(住まいの金物)の企画・開発・販売



当社の業績概況や事業戦略にスムーズにアクセス! アトムリビンテックの「株主・投資家情報」サイトをぜひご利用ください。

www.atomlt.com/ir



「内装金物」とは、アトムリビンテックによる独自の事業分野を表現する言葉です。



金物の業界は、大きく分けて「建築金物」「家具金物」「家庭金物」「利器・工具」という4つの分野で構成されています。このうち「家庭金物」とは、鍋や釜、やかん、フライパンなどのこと。また「利器・工具」とは、金づちやノコギリ、ドライバー、ペンチなど。ただこのふたつの分野は、いずれもアトムリビンテックの事業領域ではありません。

残りふたつのうち「建築金物」とは、門扉や外柵、バルコニーの手摺りをは

じめ、ネジやボルト、カスガイなど、取り扱い品目は建築資材や建築関連商品の広範囲におよんでいます。また「家具金物」は、収納家具の取手や引手、戸車、レールをはじめ、引き出しの開閉をスムーズにするスライドレールや、ジョイント金具、椅子やテーブルのキャスターなど、文字どおり家具に取り付ける金具全般にわたっています。

当社は、この実用本位の「建築金物」と繊細な形や動きを重視した「家具金物」のふたつの分野を統合し、新たに「内装金物(住まいの金物)」とい



当社がつくり出した独自の事業分野

う事業領域を創出。創業者の思いでもある「ものづくりの精神」を反映させたATOMブランド製品の企画・開発・販売に特化し、より豊かで快適な住環境を演出する「住空間創造企業」をめざしています。



INFORMATION

アトムリビンテック「2015秋の内覧会」のご案内

今回は大阪・東京の両ショールームともに会期を土曜日まで延長して、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

大阪会場

10/7(水) 8(木) 9(金) 10(土)

アトム住まいの金物ギャラリー大阪

tel.06(6821)7281 大阪府吹田市広芝町18-5
10:00~18:00 *最終日は17:00まで

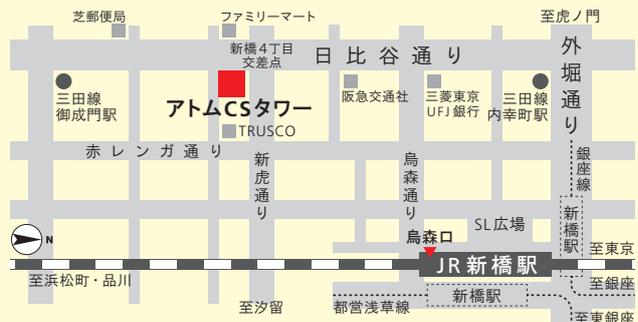


東京会場

10/14(水) 15(木) 16(金) 17(土)

アトムCSタワー

tel.03(3437)3440 東京都港区新橋4-31-5
10:00~18:00 *最終日は17:00まで



JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩10分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩7分

ご来場ご希望の方は、アトムリビンテックホームページより招待状をプリントアウトしてお持ちください。 <http://www.atomlt.com>



スローでエコロジカルな暮らしを提案するオーガニックカフェ「カフェスロー」。薬と土をつかった内装、大きな窓からのぞむ木々、赤ちゃんからお年寄りまで、幅広い世代の方々がのんびりゆったりと行き交える場となっています。

・カフェスロー
東京都国分寺市東元町2-20-10 TEL: 042-401-8505
Mail: cafeslow@h4.dion.ne.jp



国分寺・カフェスロー・3 地域の繋がり編

なぜ人々はこのお店に集うのでしょうか？それは、人と人とが繋がって、お互いに笑顔が交わされる場所をみんなが求めているからではないでしょうか。

「最近、国分寺の街に馬車が走るようになったんですよ。馬車が走るだけで街の人々の顔には笑みがこぼれ、知らず知らずのうちに人と人とが繋がる気持ちが生まれてきます」

こう話す吉岡代表は、カフェスロー立ち上げの頃からローカルコミュニティを充実させたいと考えていました。世界を相手にユネスコで仕事をしていた吉岡代表には、地域の繋がりを大切にしたいという想いが強く、それを抛りどころに、カフェスローでは、さまざまな取り組みを行ってきました。

たとえば、店の中にギャラリーを併設して、地域住民や問題意識の強い作家の方々などがさまざまな形で情報発信のできる空間を提供しています。取材時も助産婦さんの写真展が開催されていて、赤ちゃんを取り上げてもらったお母さんや成長した子どもたちも来場して、笑顔の花が咲いていました。また、「暗闇カフェ」というイベントでは、店内すべての電気を消し、キャンドルだけでひとときを過ごします。キャンドルの向こうには心地よいライブ音楽が流れ、朗読会も行われます。「なぜか人はキャンドルの炎の前では心を開き、素直な気持ちで話ができるんですね。これはあらたな発見でした」と吉岡代表。そして今、吉岡代表はコミュニティの輪を日本全国に広げようとしています。

馬車が地域に笑顔をもたらした！



国分寺の街に馬車が走り街角の人たちに笑顔の花が咲いていた。

コミュニティの輪が地域に広がる！



日本海に浮かぶ粟島に「カフェそそど・粟島」というカフェを開店しました。人々が集う場所となっています。



地域の繋がりを乗せて馬車が行く

さまざまなイベントが人々を繋ぐ！



暗闇カフェ

店内の電気を消してローソクの灯だけでライブを楽しんでいる。

Slow Gallery

このギャラリーではドライフラワーリース展や助産婦さんの写真展などが開催され、地域の人々とのコミュニケーションの場所となっている。



読者の声

188号の表紙、とても素敵でした。VKIKOさん、シンプルで素敵な作品ですね。
(兵庫県 H・I様 女性)

「家具のへそ」の作家が製作している時の動きがわかる。容易に想像できる。音が聞こえる文章が良い。「かなぐや」の女性の作家の指先が非常に美しい。
(神奈川県 カネゴン様 男性)

今回のたてものがたり、とても興味を持ちました。今の学校建築は無機質であたかみがなく、学ぶ気力がなくなります。全てのもがハイテクになろうとしています、学びの園はローテクであってほしいです。
(千葉県 乗り鉄男様 男性)

銅の腐食の緑青は、人体に影響なしとの記述があり、たいへん安心しました。たまに10円玉がそのような色になっていると、おそろしい気持ちになっていた。これからは多くの人がいちい入っているものの真実をお知らせください。
(東京都 S・Y様 女性)

2wayソフトクローズ上部吊り車は非常に興味があります。ぜひ現物でその機能を確認してみたいと思います。
(千葉県 Kosii様 男性)

長崎県に現存する古い教会建物を特集してほしい。
(愛知県 I・K様 男性)

次の休日にカフェスローへ行こうと思います。おいしいを基本に安心・エコが加わって、とても魅力的なカフェだと思いました。
(東京都 H・A様 女性)

編集後記

6月末にテレビ放送された「有吉くんの正直さんぽ」(フジテレビ系列)のなかでアトムCSタワーが紹介され、予想をはるかに上回る反響をいただきました。作り手の思いが詰まった商品の魅力が、タレントさんの力を借りてテレビの前の視聴者にダイレクトに届くって、結果的に私たちにとっても、うれしいことだなと思いました。番組内でクローズアップされた「すずがみ」「真空チタンロックカップ」「15.0%アイスクリームスプーン」をはじめとする金属雑貨のなかには、今なお入荷待ちのアイテムもありますが、気になる商品がありましたらお気軽にお問い合わせください。というわけで、今年はアトムニュースの誌面制作とCSタワー1階ショップの応援でアツいアツい夏になりました。
(燕三条燕)

INFORMATION

アトムCSタワー公式HP

1階ギャラリーショップKANAGU
新着アイテムのご紹介やイベント情報、
ATOMNEWS関連記事をお届けしています。

☞ <http://www.atomlt.com/cstower/>

「アトムCSタワー」で検索してください。
アトムリビンテック公式HPからもご覧になれます。



見てね!



卸売事業部 後藤 貴弘

アトム商品取り扱い代理店への卸営業を担当

私の趣味のひとつにラジコンがあります。20歳の頃に始めたので、かれこれ20年になります。ラジコンには飛行機、ヘリコプター、船、車など色々な種類がありますが、今回はエンジンを搭載しているタイプの車、エンジンカーラジコンについてお話ししたいと思います。

駆動原理は自動車と同じですが、燃料はガソリンではなく、メタノールを使用します。ちなみに模型用で使用する燃料はニトロ入り(かなり爆発力があり、取り扱い注意の液体です)が通常です。このニトロ入り燃料を使用することにより、かなり元気がよく走り、時速50キロは余裕で出ます。MAX70キロといっても過言ではありません。が、スピードが増す分操縦がかなり難しくなるため、壁や何かにぶつかったとき、全損に近い壊れ方を

します。もちろん修理費も数万円単位となり、精神的にもかなりへこみます。

エンジンはかなりの高回転で回しっぱなしで走らせているため、こちらも短い期間で破損します。過去にエンジンを2機ほど壊しており、現在は3機目になってしまいました。また、数十回ほど走らせた後は分解して洗浄するため、走らせている時間以上に洗浄に時間を取られています。

現在はラジコンの範囲を超えたドローン(小型無人飛行機)というものがかなり世間をにぎわしているかと思いますが、最近はこちらにも手を出している状況にあります。ドローンも使用条件を守って遊ぶ分には楽しい時間を過ごせるアイテムです。皆さんも気軽にラジコンを体験してみてくださいいかがでしょうか?



壊れたときの修理費など、なにかと出費がかさみます

個人情報の取り扱いについて

アンケートや読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。

ここにも、あそこにも、ATOMの金物。

アトムブランドは信頼と高品質の証。これからも快適な暮らしを支えていきます。



タオル掛け
ペーパーホルダー
棚 など

sanitary

折戸・引戸システム金具
ハンガーパイプ・フック
キャスター・デスク用金物 など



bedroom

扉のマグネットキャッチ
ツマミ・ハンドル・耐震ラッチ
スライド丁番・スライドレール など

kitchen



補助手摺り
傘立て
室内ドアのレバー
戸当り
ドア用丁番
玄関用収納椅子 など

entrance



livingroom

引手・戸車・明かり採り
引戸錠・大型取手・ステー
引戸ソフトクローズ など



住まいの飾り職人



アトムリビンテック株式会社

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



<http://www.atomlt.com>